

Sedexを活用するメリット

～サプライチェーンCSR情報プラットフォームの紹介～

日時：2014年1月28日(火) 15:00～17:00(受付開始:14:30)

会場：関西学院大学 東京丸の内キャンパス ランバスホール

東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー10階 (JR東京駅八重洲北口より徒歩1分) 会場案内図:下図参照

主催：経済人コー円卓会議日本委員会
Sedex Group

対象：CSR及び調達担当者

定員：30名

参加費：無料

使用言語：日本語・英語(通訳あり)

締切：1月24日(金)

会場ご案内図



企業の調達活動がグローバル化し、サプライチェーンが複雑化する中、社会的課題(人権、労働、環境、コンプライアンス等)がリスクとして事業運営を不確実なものにしています。企業はこれらのいわゆるCSRリスクをマネジメントすることで、事業継続に対するマイナスの影響を排除しなければなりません。しかし、ヒト、モノ、カネ、情報といった企業の資源には当然ながら限りがあります。

こういった問題への対処として、グローバル企業の中には経営上問題ない範囲において資源を企業間で共有していこうという動きが見られます。

今回のセミナーでは、その具体的な例として、全世界で30,000社を超える世界最大規模のサプライチェーン情報プラットフォームを構築しているSedex GroupよりTom Smith氏を迎え、サプライチェーン情報プラットフォーム上のデータから見えてくる、マルチサプライチェーンにおけるリスク状況についてご紹介します。

合わせて、経済人コー円卓会議より、昨年3月から5月にかけて行ったサプライチェーン勉強会における結果や、各社公開資料を踏まえ、サプライチェーンに向けた取り組みの現状について「データを活かし、取り組み、報告する」という観点からご説明します。

多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

プログラム

- 14:30 受付開始
- 15:00 開会
- 15:10 サプライチェーンにおける問題への対処
～データを活かし、取り組み、報告する
岡田美穂(経済人コー円卓会議日本委員会)
- 15:40 マルチサプライチェーンにおけるリスクの状況
トム・スミス氏(Mr. Tom Smith)
Sedex Group
- 16:30 意見交換、質疑応答
- 17:00 閉会

※SEDEX Groupとの個別の面談・打ち合わせを希望される場合は、別途下記お問い合わせ先までご連絡下さい。



トム・スミス氏
(Mr. Tom Smith)
SEDEX Group



岡田 美穂
経済人コー円卓会議
日本委員会

参加お申込及びお問い合わせについて

参加お申込については、以下のWebお申込フォームよりお願いいたします。

http://jump.cx/Sedex_2 (もしくは<https://business.form-mailer.jp/fms/2946aeb228827>)

お問い合わせは以下までお願いします
経済人コー円卓会議日本委員会(担当:岡田、鈴木)
お問い合わせフォーム:<http://jump.cx/crtcontact>
電話:03-5728-6365

